

ドイツで琉球芸能発信 県派遣団、観光誘客図る



カーテンコールで観客の拍手に応える出演者＝13日、ドイツのケルン日本文化会館（三菱UFJリサーチ&コンサルティング提供）

県の沖縄芸能活用プロモーション事業で派遣された芸能団が13日、ドイツのケルン日本文化会館で公演し、フランス、ドイツでの3公演を終えた。海外で芸能を披露し、観光誘客につなげるのが狙い。

読んが NIE
組踊「花売の縁」などを上演し、地元客に沖縄を発信した。

出演した眞境名正憲さん（伝統組踊保存会会長）は「字幕もないが、ケルンの

観客は演劇の見方が成熟しており、熱心に見ていた。組踊を海外で上演することで沖縄の文化、観光の認知度が高まること話した。

現地の観光業者への聞き取りでは「簡素な舞台装置、必要最低限の小道具で多彩な場面を想起させることが斬新だった」「東京・京都・大阪を回った後に沖縄に立ち寄り、文化的なリゾートを楽しむのは好まれるだろう」との意見があったという。